知分　慶

ここ十日あまり　ほぼ毎日だ
すべてもすべてもすべてするものがある
引き「メイク」「ルーク」「ルーク」「秋の上」「デ」「ノ」「ル」
の上　どんどんすった
水みくずれは無いっぱいだ
たしか昨日すったのに　同じところを負ける
「あれ」これいるなのにとなる
たしか月日がたつと　その時それ時の判断
がこと変る　でも一日もたたないのに変化
言うなんて　「玩」おかしいの「か」と思う
だがすてたからと言って困ることはない
不自由なくすぎせそう
考えてみたら　実はこんなに物はなかった
でも快適だった　それらを一定の場所におか
なくてといろ心配がなかった
部屋もものと広くしていた
月日をかけ　しらないうちにもしづつ少し
づつふえて行ったのだ　気がついたら物が
いっぱい　あまり使っていないものに

あるいは以前は仕事でも今はいらない物だ
明日やればよい　そのうちやればいいと言
ったものから　これは母の嫁の思い出だから
と現田のつけた物ばかりだ
きっと以前と考え方が変わったのだ
生活に必要な　最低限以外は処分する　と考
えたのだ
二十四年前　姉が亡くなった時　嫁と息子と
三人で暮らしていた
物を処分するのに大変だった
すべても　すべても　物がなった
そのことを再び　話をかすめたのかもしれ
ない　ふたた

2019
4/24